

《鬼火（どんどや）で久玉地区の平穏無事を祈願》

久玉地区振興会の年始め恒例行事である「鬼火」が1月7日に開催された。

ふれあい広場隣りの広場に 積み上げられた雑木の高さ5m、周りは竹で覆われ胴回りは20m 更に中央には立派な竹が高々とそびえていた。

午後1時、高く積み上げられた雑木の前で、1年の平穏無事を祈願し、明照園、あかね苑の利用者 地区の皆さん等50名ほどが見守る中、着火すると炎が勢いよく燃え上がり 観客からはウワー凄いとの声が聞かれた そこから吹き出すおおきな塊となった灰色の煙は 北風に煽られ右へ左へと揺れ動きながら 海上を滑るように流れて行く その様は何者をも寄せ付けない力強さが感じられた。

炎が落ち着くと 竹竿に挟んだ餅を炙る（あぶる）いつもの光景が見られた。この餅を食べると この1年健康で過ごせるとの言い伝えがある。

恒例となった残り火を囲んで 猪鍋を食べながら気の合った仲間と飲む酒は 格別に美味しかった

（追記）

「鬼火」と「どんどや」ふたつの呼び方があるが 「鬼火焚」で辞書を繰れば 九州一帯で、左義長（さぎちょう）の火祭り行事のこと。鬼火。とあった。

次に「どんど」で繰ったら 小正月（1月15日）に村境などで行なう火祭。門松・竹・しめ縄などを集めて焚く。どんどやき。とあった どちらも同じものようだ



久振だより

人口2278人
1276世帯
-第213号
発行
久玉地区振興会
発行日
令和8年2月1日



とっても喜んでもらえました！「友愛訪問活動」



1月18日、社会福祉協議会の委託を受けて久玉地区女性部24名は75歳以上で一人住まいの人87名の方に見守り活動を兼ねて手作り弁当をお届けする「友愛訪問活動」を実施しました。

前日に料理の下ごしらえをして 当日は朝早くから作業が開始されました。

厨房での献立は、綿糸玉子の彩りも美しいちらし寿司煮しめ、からいものガネ揚げ、そしてデザートには甘い寒天等、高齢者に喜んでいただけるものばかりが料理されました。

別室では 出来上がった料理を流れ作業で 綺麗にスピード一気に弁当箱に詰めていきます。その手際の良さが素晴らしい驚かされました

安否確認をしながら「お元気ですか 私達が作りました弁当です」と お渡しすると「わあ一嬉しい ありがとうございます」と大変喜んでもらえました。

振興会の部会員(活動スタッフ)を募集します！

久玉地区振興会(以下振興会という)のことについて、みなんどれほどご存知でしょうか
存在は知っているが目的及び組織については知らないというのがほとんどだと思います。
そこで振興会について要点だけ述べてみます

1. 部会員の資格 久玉地区住民で趣旨に賛同する方であれば誰もが部会員となれます。
2. 趣旨 地域の活性化と住みよく明るいまちづくりを目的とし、笑顔があふれみんなが仲良く久玉地区住民で良かったと思えるまちづくりを目指して活動しています。
3. 具体的な事業の主なものとして

①ハイヤ祭りへの参加 ②敬老会の開催 ③夏祭りの開催 ④芸能文化祭の開催等
上記のようなことを企画して活動しています。

現在、部会員には高齢者が多く 年々数名の方が退会されることから、新たな加入がないと今後の運営に支障を来すことが考えられます。

久玉地区住民で振興会の趣旨に賛同し地域貢献したいと思われましたら、是非、振興会部会員に加入くださいますようお願いします。65歳以上の方も大歓迎です。

尚、連絡先は次のとおりです。 電話 72-5000 担当 江良・高野